

1. 計画と対策

(1) 地球温暖化対策に係る計画

① 平成 30 年度の電気・燃料等の使用量

燃料及び熱	エネルギーの種類		単位	H30 年度					
				使用量		販売副生エネルギー等の量			
						販売された量		自らの生産に 寄与しない量	
				数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
燃料	その他の 燃料	都市ガス	千m ³	233	10,468				
		13A : 45MJ/m ³							
	産業用蒸気		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ						
	温水		GJ						
	冷水		GJ						
	小計		GJ		10,468				
電気	一般電気事業者	昼間買電	千 kWh						
		夜間買電	千 kWh						
	その他	上記以外の買電	千 kWh	16,224	158,347				
		自家発電	千 kWh						
	小計		千 kWh/GJ	16,224	158,347				
合計					168,815				
原油換算 kl					4,355				
今年度目標値					4,311				

②平成 30 年度の二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量		今年度目標値 (前年度比 1%減)
電気 :	$16,224,091 \text{ kWh} \div 1,000 \times 0.358 = 5,808 \text{ t-CO}_2$	5,750 t-CO ₂
ガス :	$232,624 \text{ m}^3 \div 1,000 \times 2.245 = 522 \text{ t-CO}_2$	516 t-CO ₂
熱 :	$\text{MJ} \div \quad \times \quad = \quad \text{t-CO}_2$	t-CO ₂
合計 = 6,330 t-CO ₂		6,266 t-CO ₂

③ 使用量実績

	平成 29 年度	平成 30 年度	29 年度比実績
電気・燃料等使用量 原油換算 (kl)	4,371kl	4,355kl	約 1.4%削減
二酸化炭素排出量 (t-CO2)	6,354t-CO2	6,330-CO2	約 1.4%削減

④ 目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策
エネルギーの 使用の合理化	係る設備の定期的計測数値の記録と分析
	室内温度管理の適正化
	低消費電力灯具との交換及び不要箇所の消灯
	従業員、テナントへの啓蒙

(2) 地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、結果

	分野	項目	
1	館内の節電	電球の間引き・LED化 不要部分の消灯・パソコンの節電 室内温度設定の適正化、空調時間の調整など 業務時間外の事務所送電停止	徹底
2	事業所等での節水	トイレの節水装置の設置	徹底
3	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別廃棄し、資源ゴミ・段ボールなどリサイクル化へ推進	徹底
		魚腸骨、生ゴミの食品リサイクルの推進	2017年比 48.9%(増)
		コピー用紙の使用削減	2017年比 89.4%(減)
4	営業活動における資源有効利用	ミスコピー用紙の再利用	徹底
		紙袋・包装紙の削減	2017年比 87.3%(減)
		簡易包装・スマートラッピングのお勧め	徹底
		こども靴下取りによる再利用	2017年比 103.4%(減)
5	事業所等での再生製品等の使用	緑化活動としてのグリーンラッピングのお勧め	2017年比 79%(増)
		プリンタトナーカートリッジの再生利用	100%
6	従業員教育	コピー用紙、トイレットペーパーの再生紙利用	100%
		環境保全に関する社員研修(1回/年)	新規入店時に研修

1. エイチ・ツー・オーリテイリンググループ企業の基本理念

<基本理念>

「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくってはならない存在であり続けること」をグループの基本理念とし、お客様および株主の皆様をはじめ、お取引先、従業員といったステークホルダーの期待にお応えするとともに、社会全体に対し貢献することが企業としての存在意義であると考えています。

<エイチ・ツー・オーリテイリンググループ 環境方針>

地球環境貢献活動を実施するにあたっては、当社グループ行動規範に則って、以下にかかげる地球環境の保全に資する活動を推進していきます。

(1) 環境マネジメントの構築

事業活動により発生する環境負荷を低減するため、環境マネジメントの推進体制を整え、以下の項目について、独自の数値目標を設定し、その達成に努めます。

- ① CO₂ 排出削減、省エネルギー・省資源
- ② 廃棄物削減とリサイクル
- ③ グリーン購入

(2) 環境保全活動の推進

事業特性を活かして、環境問題の解決に資する活動を推進していきます。

- ① 環境に配慮した商品及びライフスタイルの提案
- ② 地域社会と提携した環境保全活動
- ③ 森林・水資源の保護など、自然保護活動

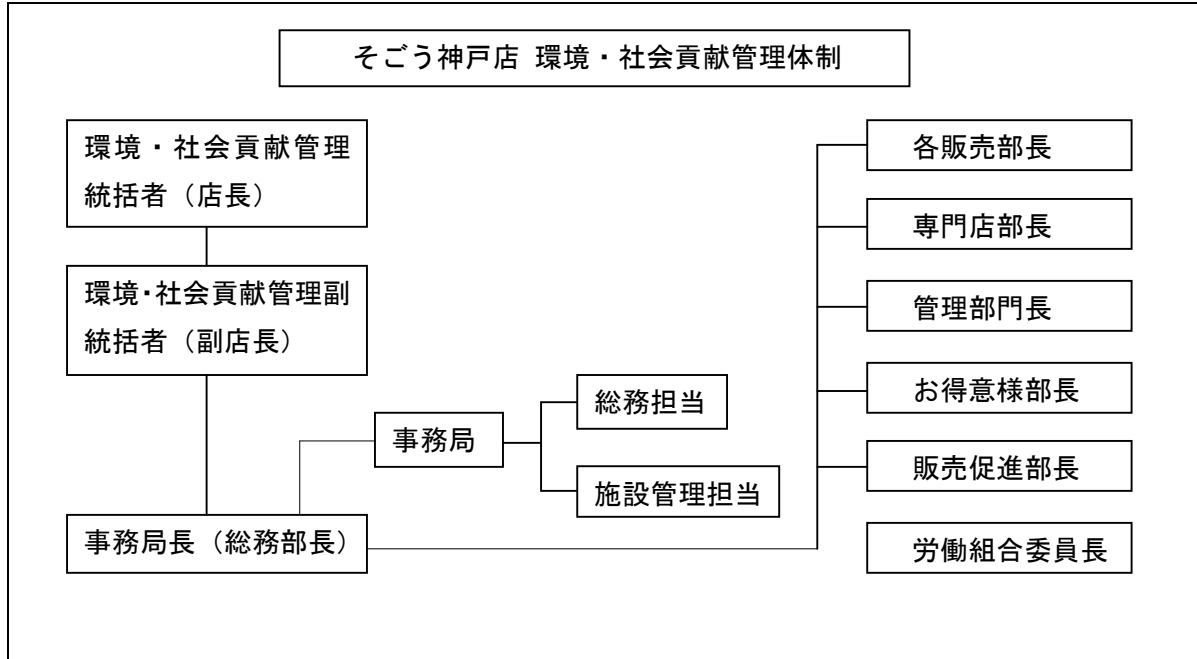
(3) 啓発活動と情報開示

環境方針を全従業員に周知徹底するとともに、活動の内容や成果について積極的に情報開示していきます。

2. 環境保全に関する組織の現況

株式会社 エイチ・ツー・オー アセットマネジメントそごう神戸店における環境・社会貢献管理体制は図1のとおりである。

図1



3. 当社の活動

株式会社 エイチ・ツー・オー アセットマネジメント そごう神戸店では環境方針に基づき、お客さまとともに進める環境・社会貢献活動を具体的に「重点領域・取り組み」として設定し、日々の活動の指標としています。

■具体的な環境・社会貢献活動（重点取り組み項目）

	重点領域	取り組み	具体的な活動例
I	お客様とのコミュニケーションの強化	① 環境商品の選定と提案	・環境商品店頭品揃えと売上拡大 ・環境配慮のセールストーク徹底
		② スマートラッピングの推進	・簡易包装お勧めトークの徹底
		③ 環境イベントの開催	・環境関連イベントへの積極的な取り組み
II	社会貢献ー地域社会とのコミュニケーション強化	④ 地域との共生	・店舗外周清掃の実施 ・地域主催環境関連コミュニケーションへの参画 ・地域振興、地産地消への取り組み
		⑤ 社会との共生	・盲導犬育成事業支援 ・植樹育樹活動 ・途上国支援
III	環境負荷の低減と環境保全活動の推進	⑥ 「地球温暖化」対策	・電力使用量の削減 階段の2UP 3DOWN 適正な室温管理 節電プレートの活用 時間外業務の削減
		⑦ 「循環型社会」の推進	・廃棄物の削減、リサイクルの向上（ゴミの分別、ハンガー回収）
		⑧ 「省資源」の推進	・両面コピー、集約印刷 ・節水
IV	コンプライアンスとリスクマネジメント	⑨ 順法とリスクマネジメントの強化	・フロン・PCB・薬剤管理 ・従業員への環境教育・指導

4. ISO14001について

・そごう神戸店は、国際規格ISO14001の認証を2011年に取得しました。

4. 計画と対策

(1) 地球温暖化対策に係る計画

① 平成 30 年度の電気・燃料等の使用量

燃料及び熱	エネルギーの種類		単位	H29 年度					
				使用量		販売副生エネルギー等の量			
						販売された量		自らの生産に 寄与しない量	
				数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
燃 料 及 び 熱	その他の 燃料	都市ガス	千m ³	233	10,468				
		13A : 45MJ/m ³							
	産業用蒸気		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ						
	温水		GJ						
	冷水		GJ						
	小計		GJ		10,468				
電 気	一般電気事業者	昼間買電	千 kWh						
		夜間買電	千 kWh						
	その他	上記以外の買電	千 kWh	16,224	158,347				
		自家発電	千 kWh						
	小計		千 kWh/GJ	16,224	158,347				
合計					168,815				
原油換算 kl					4,355				
今年度目標値					4,311				

② 平成 30 年度の二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量		今年度目標値 (前年度比 1%減)
電 気 :	$16,224,091 \text{ kWh} \div 1,000 \times 0.358 = 5,808 \text{ t-CO}_2$	5,750 t-CO ₂
ガ ス :	$235,240 \text{ m}^3 \div 1,000 \times 2.245 = 522 \text{ t-CO}_2$	516 t-CO ₂
熱 :	$\text{MJ} \div \quad \times \quad = \quad \text{t-CO}_2$	t-CO ₂
合 計 = 6,330 t-CO ₂		6,266 t-CO ₂

④ 使用量実績

	平成 29 年度	平成 30 年度	29 年度比実績
電気・燃料等使用量 原油換算 (kl)	4,371kl	4,355kl	約 1.4%削減
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	6,354t-CO ₂	6,330t-CO ₂	約 1.4%削減

④ 目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策
エネルギーの 使用の合理化	係る設備の定期的計測数値の記録と分析
	室内温度管理の適正化
	低消費電力灯具との交換及び不要箇所の消灯
	従業員、テナントへの啓蒙

(2) 地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画

(目標達成年次 2019 年度中)

	分野	項目	
1	館内の節電	電球の間引き・LED化 不要部分の消灯・パソコンの節電 室内温度設定の適正化、空調時間の調整など 業務時間外の事務所送電停止	徹底
2	事業所等での節水	トイレの節水装置の設置	徹底
3	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別廃棄し、資源ゴミ・段ボールなどリサイクル化へ推進	徹底
		魚腸骨、生ゴミの食品リサイクルの推進	2018 年比 187.2%(減)
		コピー用紙の使用削減	2018 年比 99%(減)
4	営業活動における資源有効利用	ミスコピー用紙の再利用	徹底
		紙袋・包装紙の削減	2018 年比 99% (減)
		簡易包装・スマートラッピングのお勧め	徹底
		こども靴下取りによる再利用	2018 年比 62.1%(増)
5	事業所等での再生製品等の使用	緑化活動としてのグリーンラッピングのお勧め	2018 年比 59.7% (増)
		プリンタトナーカートリッジの再生利用	100%
		コピー用紙、トイレットペーパーの再生紙利用	100%
6	従業員教育	環境保全に関する社員研修	入店時研修